



海外移住を希望される方へ

申込から渡航まで



内外事情の好転に伴って本県からの海外移住もずいぶん盛んになつてきました。昨年のこのときからこれまでの三年間の四倍近い移住者の中南米、北米方面に送られて、鹿児島県移住者の好評はますます高まりつつあります。本町からは昨年四月に北米デラノ市へ中野美君(諏訪町)、同年十一月コチア産業へ、梁瀬秀敏(若原)、江口深夫(みらく)の二名が移住しましたが本県海外移住は昭和三十一年を転期として一大躍進の時期に入つた感があります。

海外移住の手続

一口に移住の手続といつても、相手は外国であるために非常に複雑です。家族構成条件にしましても、受入条件にしましてもそれぞれがいろいろあります。また開拓自営移住、単身移住の別によつていろいろあります。以下「海外移住の申込から合格渡航まで」の経路を追つてみてみましょう。

① 申込から合格まで

まず募集に関する事務系統から申しますと、外務省から募集事務を委託されて...

② 予備登録

最近更に一步をすすめて、募集申すまでも方式に移住申込を受けるようになってきています。従来は県別割当もありましたが、近頃は...

③ 事前申込

募集申すまでも方式に移住申込を受けるようになってきています。従来は県別割当もありましたが、近頃は...

十月の農業要領

玉ねぎの定植と

秋そさいの手入れ

前号で玉ねぎの育苗について記しましたが、本号では本圃について述べてみます。

一、玉ねぎの性質

生物はすべて性質があります。作物も種子から芽が出て葉を出し、大きくなつて花が咲き、実がついて種子が出来る。それまでの間に色々な肥培管理を行います。この作業が作物の生長を知つてやる場合とは、知らずにやる場合とは、その収穫に大きな差が出来ます。

二、玉ねぎの定植

定植するとき、大小選苗することが大事である。玉ねぎが、早生と晩生があるが、早生と晩生が、早生と晩生が、早生と晩生が...

五十才の働き手が三人以上はとんどありませんので、海外移住では、手つとり早く選考をすましておいて、中央からの募集通知を受けると同時に推薦者を上申するようにしてあります。たとえ中央の予想より多くても「これだけの移住しなければならぬ」のだからと強力に働きかけ希望者たちの目的を達成させるよう努力してあります。

④ 提出書類

原則として移住申込書、健康診断書、家族調書、農従事証明書、無犯罪誓約書、戸籍簿、同一家族(戸籍)でない未青年に対する親権者の同意書各二通ずつ、写真(家族一しよと個人別に)、各二葉ずつとなつていますが、コチア産業単独青年の場合にのみ「コチア産業組合単独青年雇用移住申込書」として、前記のはか協会の推薦書、予備質問書、身元証明書各四通、写真も四葉要ります。

⑤ 移住資格

各移住団別によつて家族構成条件に相違があります。一 家族、住者は、一 プラジル、十五才より上、...

三、玉ねぎ肥料(反当り)

Table with fertilizer application rates for onions. Columns include fertilizer types like 堆肥, 油粕, 木灰, etc., and application rates per 1000 square meters.

四、白さい、にんじん

それでは、現在植付付けてある秋そさいの肥培管理について簡単に記します。白菜は、本葉が八枚以上、...

旺盛な青年であつても身長、体重が一定の規格に達しない短軀型(小さく細い人)なものも採用されません。その思想の極端なもの(前に犯罪のあつたもの)とかトラホーム、結核、性病その他他伝染病をもつていて、身体障害者などとして常識的に考へて不適格者と認められるものは除外されます。

⑥ 合格から渡航まで

次に合格から渡航までいろいろ述べたいのですが、ベースの関係上は、合格した方渡航する方は提出書類を持って、渡航する前に入所乗船手帳、携行物資、入所乗船手帳など種々な条件があります。詳しく知りたい方は、町役場経済課にお問い合わせ下さい。

考える農業への転換(六)

肥料を上手に使いましょう。土壌中には、色々作物を育て、ゆく元素があるが、追肥も肥料の効果をよく、追肥も肥料の効果をよく、追肥も肥料の効果をよく...

大抵は、堆肥は別種のよりに考へて金肥だけに依存する傾向が強いので、特に堆肥を施用した上で、金肥を考へることを忘れてはならないと思ひます。普通作について、大方肥料不足よりも、特に堆肥不足が多き、特に堆肥不足が多き、特に堆肥不足が多き...

郷土文芸

短歌 加治木短歌会。岡山みち絵、鬼塚ふみ子、川畑笑子、川崎初子、久保妙子、児玉妙子、寺師たつ子、美坂はま子、木場ふじえ、岩穴春男

詩「日本米」 台風一過全ゆる試練によく耐えてくれた御前達には感謝の誠を捧げずにはおられぬ。天からの陽光稲穂よりの熱湯にも秋の豊作をもちたさんかために風雨踏踏月間が過ぎ去り雪雪四ヶ月間が過ぎ去り夏老ひ秋深くにつれて稔る程頭の下の稲穂かな!

生れた 三つのグループ。町内には、会員お互い各自の終生に上にならざるが力を合せて、新しうと、農事、円芸(そさい)農業技術を取り入れ、とに、農事、円芸(そさい)農業技術を取り入れて、とに、農事、円芸(そさい)農業技術を取り入れて、とに...

今月中に着工 仔ブタ市場駅附近に新設。加治木町 畜産振興会では、年々増えるブタの生産需要にこたへて、新しくブタのセリ市場を建設する計画を進め、これを現する策として仔ブタ市場設置促進委員会を組織し、十一月初旬の予定。

加治木町から 國体に三名出場。加治木町体育協会の小浜氏長氏(アテテ運動具店)は、先般福岡市において行はれた才十二回國民体育大会硬式庭球男子二部(社年)九州地区予選に優勝し、来る十月二十六日から静岡県において開催される國体に選手として出場することになり、来る二十四日急行し、来日して、午後十二時三十分で出発する。國体出場八回の記録をもつ同氏の活躍が大いに期待される。なお、寺師孝男氏(園鉄)は、園芸監督として、小浜正典氏(鹿高校)は、サッカー監督として同日出発する。